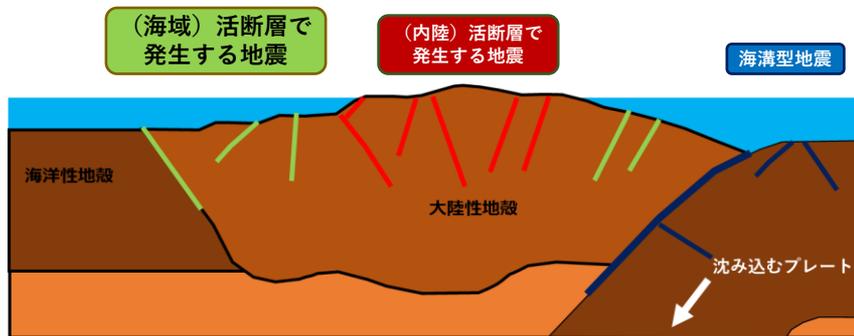


日本海側の海域活断層の長期評価（令和6年7月 速報暫定版）のポイント

- 兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖の海域活断層の、位置・長さ・形状・そこで発生する地震の規模等について、速報暫定版として公表
- 主に長さ20 km以上の海域活断層の特性を評価
- 今回は、発生確率の評価は行っていない。

1. 海域活断層の長期評価

- 地震調査研究推進本部の下に設置されている地震調査委員会は、防災対策の基礎となる情報を提供するため、将来発生する可能性のある地震の規模、確率等について評価し、これを長期評価として公表している
- 日本海南西部に続き、今回、兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖の海域活断層の、断層の位置・形状、そこで発生する地震の規模について、速報・暫定的に評価を公表する。



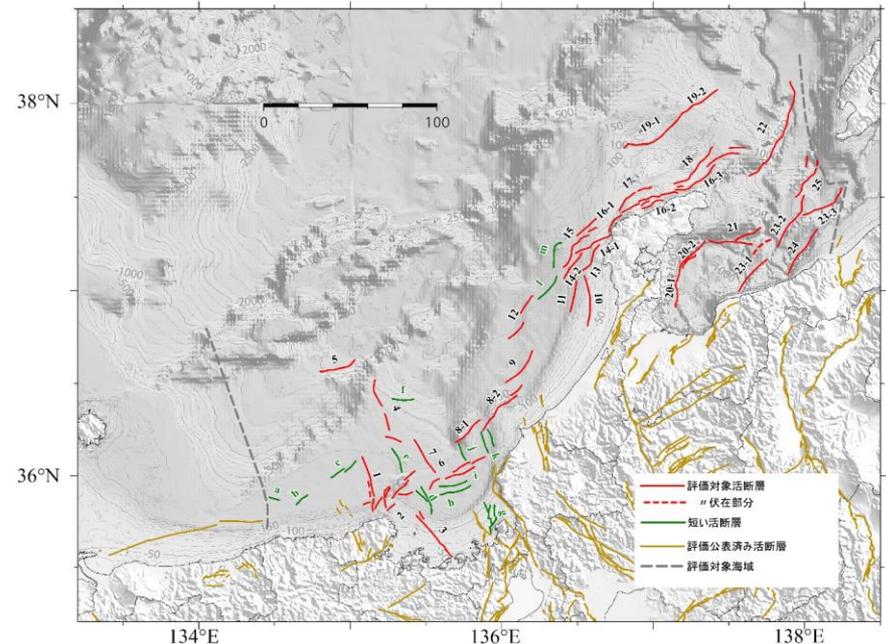
2. 陸域の活断層の長期評価との違い

- 海域での地震であることを考慮し、M7.0以上の地震の発生確率を評価（陸域の地域評価ではM6.8以上）

3. 海域活断層の評価手法

- ① 反射法地震探査による反射断面、海底地形・地質、既存研究の断層モデル等から、断層の位置、長さ、形状等を推定
- ② 地震の規模（M、マグニチュード）は、断層長さから経験式を用いて推定

4. 計25断層について、断層の位置等の評価



計25の評価対象の海域活断層帯（長さ20 km以上、M7.0程度以上）について、断層の位置、長さ、形状、地震の規模等々を評価